

ご家庭や地域の皆様からいただいたお声に、子どもたちと教職員のアンケート調査を加えて、相違点や共通点を元に考察を加え、これからの小栗栖教育の参考にさせていただきたいと考えています。今後とも学校に対して、忌憚のないご意見をお願いいたします。

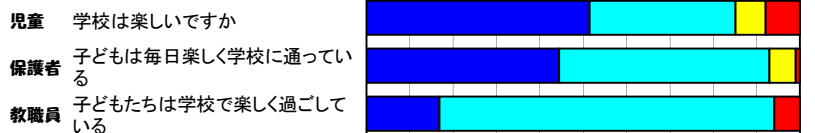
■ とてもそう思う

■ そう思う

■ あまりそう思わない

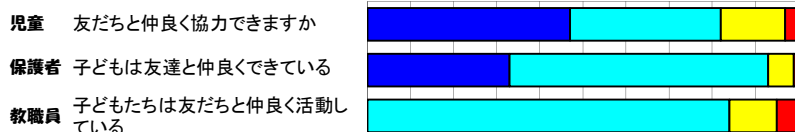
■ そう思わない

①楽しい学校



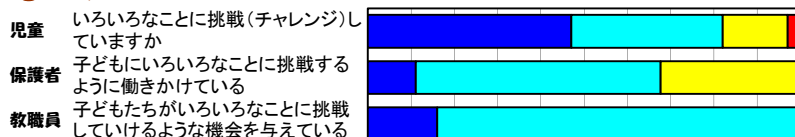
子ども達が「学校が楽しい」と答える割合が、前期より4%減少し楽しくないとの回答の割合が4%増加しました。その現状や心配しておられる保護者の割合が少し増加したことを真摯に受け止めなければならないと考えています。保護者の方の願いに近づけるよう、担任だけでなく複数の教員が関わる取組等を今後も進めます。教職員一同「楽しい学校」を目指して取り組みを進めていきます。

②友だち



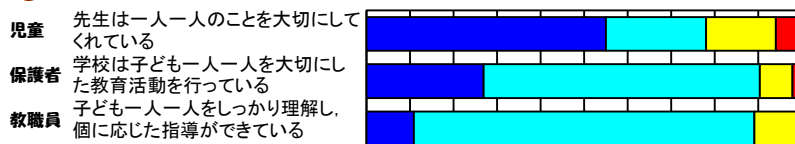
82%ほどの子どもたちにとって、仲良く過ごせているとの思いがありますが、前期よりも少し減少しています。20%近い割合でマイナス評価が出ていますので、一人一人が活躍できる場を設け、友だちと仲良く協力することで達成感が感じられるような取組を進めていきたいと考えています。

③チャレンジ



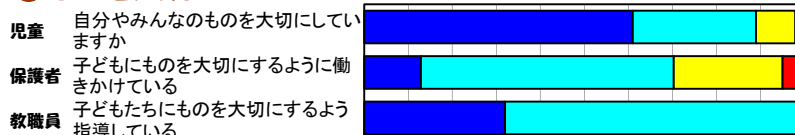
前期より自分の目標に向かってチャレンジしている子どもたちの割合はほとんど変わりませんでしたが、保護者のプラス評価が15%ほど減少し、日常生活の中で子ども達が挑戦するように働きかけるのが難しい現状もあるようです。今後も自分に自信が持てるように、書写・図画工作・部活動などで活躍した子どもたちを朝会で紹介したり、担任だけでなく「認める・ほめる」場面をつくるよう働きかけたりして、学校全体としての取組を進めています。ご家庭でも「チャレンジ」を合言葉に、子どもたちへの声かけをお願いします。

④一人一人を大切に



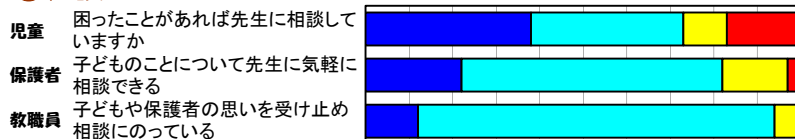
本校は「一人一人を大切に」を教育目標の柱にしています。保護者からの「子どもたちが大切にされている」との回答が80%ほどあり、取組の成果が現れていると考えられる一方、「あまり大切にされていない」という子どもたちが10%ほど増加し、不十分だと考えている教職員も10%ほどいます。個々への対応について再度教職員で見直していきます。

⑤ものを大切に



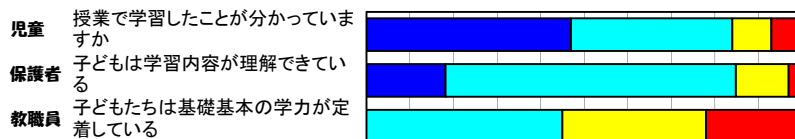
子ども達の意識は前期とほぼ変わらないようで、多くの子ども達の物を大切にする意識は育ってきたようですが、しかし、保護者の方の「働きかけられていない」という評価が増加していたり、借りた体操服や置き傘等が戻ってこない現状があります。学校や地域にある公共物についても大切にしていこう、今後も、家庭・地域・学校が同じ歩調で、物を大切にする習慣づけをしていく必要があると考えています。

⑥相談



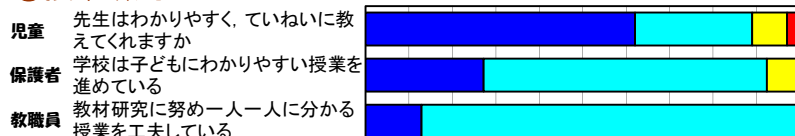
保護者からの評価は前期とほぼ変わりませんが、「先生に相談しにくい」と感じている子ども達の割合が7%も増加し、教職員が感じている以上に相談しにくいと感じている子どもたちが多い現状があります。保護者や子どもたちからもっと信頼を得られるように、メッセージを敏感に受け止め、解決に向けて努力していきます。

⑦学力向上



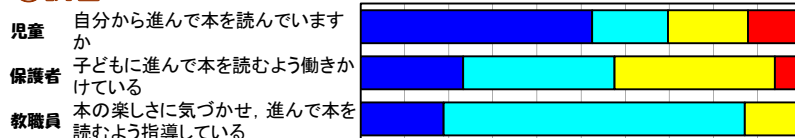
基礎基本に関する内容を中心に「できた」と感じる子どもたちが約85%に達しましたが、「学習が分からない」という子ども達の割合が5%ほど増加し、差ができています。基礎基本の学力が定着するよう、日常の学習に加えて「漢字検定」「計算検定」や家庭学習への全校的な取組を強化していきたいと考えています。今後もより確かな学力を目指して取り組んでいきます。ご家庭での励ましをお願いします。

⑧授業研究



算数科での少人数指導や支援担当教員による授業を充実しています。タブレットPCの整備により、授業改善や子ども達の活用も進めています。約90%の子ども達が「わかりやすい」と評価していますので、今後も子ども達の「わかった」の声が増えるようさらにわかりやすい授業、定着する授業を目指して学校全体で取組を進めていきます。

⑨読書



朝の読書タイムの定着により、読書をする子は増えていますが、まだ30%の子ども達は進んで本を手取るまでには至っていないようです。中間休みにはPTA等の図書ボランティアの方に図書室開館をお手伝いいただき、読書の機会を増やしていただいています。今後も読書好きの子が増えるよう、読書内容の充実を目指した読書指導をしていきます。ご家庭でも子ども達が本を手取る機会が増えるよう、働きかけをお願いします。

⑩聞くこと・話すこと

児童	授業中、話をしっかり聞き、考えて自分の意見を言っていますか	
保護者	子どもは話をしっかり聞き、自分の意見を発表している	
教職員	子どもたちに「聞く・話す」という学習の基本姿勢を身につけさせている	

学習だけでなく学校生活・社会生活の中で大変重要な項目です。前期よりプラス評価が7%減少し、「しっかり聞いたり話したりすること」に自信が持てない子どもたちが27%います。国語科をはじめ、すべての学習において自分の思いや考えを伝える場面を意識的に取り入れ、今後も改善をめざします。ご家庭の会話の中でも、集中して聞き、相手に伝わる話し方をするようお声かけをお願いします。

⑪家庭学習

児童	家で宿題・予習・復習など勉強していますか	
保護者	子どもに、家で宿題・予習や復習などができるよう努めている	
教職員	子どもたちに適切な課題を与え家庭学習の定着を図っている	

全学年の宿題の基本パターンを統一して取り組んでいます。が、「やりすぎる子ども」が少し減少しています。また、家庭学習の時間が相対的に短いという現状があります。学習内容を定着させるためにも、家庭での学習時間の確保が重要です。「家庭での学習習慣をつける」「やるべき学習はきちんとする」ために、まず宿題をしっかりとやるべきことが大切です。ご家庭の協力をよろしくお願いします。

⑫生活習慣

児童	早ね・早おき・朝ごはんなど 規則正しい生活ができていますか	
保護者	子どもに早寝・早起き・朝ご飯などの基本的なしつけをしている	
教職員	子どもたちの生活習慣を向上させるような取組ができています	

前期よりもマイナス評価がわずかながら増えています。不規則な生活習慣は、健全な発育を妨げます。学校でも生活向上を目指した取組を継続し、「夜は10時までに寝る。朝は7時までに起きる」「朝は、しっかりごはん（パン）とおかずをとる」を特に指導しています。学んだことを家庭で実践するためには、ご家族全員の協力が必要です。規則正しい生活を送れるようよろしくお願いします。

⑬あいさつ

児童	元気のよいあいさつができますか	
保護者	家庭で子どもたちに元気よくあいさつするよう声かけをしている	
教職員	子どもたちに挨拶の指導がしっかりとできている	

地域の方からも登下校時のあいさつは随分できてきたと褒めていただく反面、できている子とできていない子に分かれていると感じの方も多くおられます。元気なあいさつ・気持ちの良いあいさつは、コミュニケーションの第一歩です。普段から、あいさつが自然にできる子に育ててほしいものです。教職員も含め小栗栖小学校全員で挨拶がしっかりできるよう、引き続き取り組んでいきます。

⑭言葉づかい

児童	正しい言葉づかいができていますか	
保護者	子どもに、時と場に応じた言葉遣いができるよう働きかけている	
教職員	子どもたちに、時と場に応じた言葉遣いができるよう指導している	

前期と比べて、子ども達の評価はほとんど変わりませんが、保護者の働きかけが少し減少傾向にあるようです。取組の成果が現れてくるためには、継続的な取組が必要です。今後も時と場に応じた言葉遣いができるように、正しく敬語を使えるように、気をつけて指導していきたいと思います。家庭での言葉遣いについても、ご家族みんなで意識していただき、ご協力をお願いします。

⑮行事への参加

保護者	学校行事やPTA行事、地域行事に積極的に参加している	
教職員	PTAや地域の行事などに進んで参加している	

行事に参加してくださる保護者の方が10%ほど減少したようです。お忙しい中ですが、PTA活動や地域行事を通して子ども達を支えていただいおり、楽しい行事の中で普段学校では見られない子どもたちの姿も見られます。教職員もできるだけ参加し、地域の方との交流に努めたいと考えています。併せて皆様のご参加・ご協力をお願いします。

⑯環境整備

保護者	学校や教室は、教育的環境がきちんと整備されている	
教職員	学校や教室の教育的な環境を整備している	

環境整備については、北校舎のトイレ改修や音楽室のエアコンの整備などを整えることができました。また、窓ガラス等の破損修繕も迅速に行い、子ども達が安全な環境で学習できるよう整えています。今後も、学校の教育的な環境を整える取組を進めてまいります。

平成26年度 後期学校アンケート「自由記述欄」具体的なご意見について（抜粋）

☆楽しいので学校に行っています。それが一番だと思います。
 ☆「明日先生に聞いてみよう」「先生に伝えよう」と自ら言うことが増え、子どもに話しやすい良い関わりをしていただいているのだと思います。
 ☆担任の先生が学習や生活面で熱心に教えてくれるので、最近では自分の意見など自己主張もできるようになってきました。子どもから学ぶ事が多く、親も一緒に前向きに成長していきたいと思います。
 ☆全体遊びの時間を作る等子どもに合わせて対応してくださっていると思います。全校での発表の機会も多く、よい体験をしていると思います。
 ☆先生がいろいろ対策を立てたりご苦労なさっているのは承知していますが、少し不安な状態で学校に行っているの、楽しく学校生活がおくれるようにしてほしいです。
 ☆子ども達には、どのように行動するべきか考えてほしいと思います。卒業してからの長い人生いろいろなことが起こると思います。大げさかもしれませんが、生き抜くすべを知ってほしいです。

アンケートについて地域の方々や学校運営協議会にご参加いただいている方々にもご意見をいただきました。学校の様子については、「子ども達が楽しそうに学校に通っている」「学校は安全・安心な所である」「教育環境が整備されている」「多文化の学習にしっかり取り組んでいる」「図書の出貸数も多い」等の良い評価をいただきました。また、「挨拶をする子と挨拶しない子に分かれている」や「言葉遣いが悪い」「先生に対して敬語を使わない」「道路にごみを捨てる」等の改善を望むご意見もいただきました。保護者に対しても「挨拶をしない」「言葉遣いが悪い」「マナーや後始末が悪い」とのご指摘もあり、「保護者や大きい子ども達が見本となるような行動をしてほしい」「相手を思いやれる子・感謝できる子になってほしい」との励ましを含むご意見もいただきました。

子ども達、保護者、地域の皆様からのお声やご意見を真摯にうけとめ、教職員一同、今後も研鑽を積み、子どもたちの学力向上に結びつく授業や一人一人を大切にした学級経営・学校経営に努め、「いじめ問題」にも予防から取り組んでいきたいと思っています。そして、保護者・地域・学校がより密接に協力して子ども達に関わることが大切だと考えておりますので、話し合いをしたり、いろいろな活動をしたりして、共に子どもたちの健やかな成長を見守っていきたくて考えております。個々のご意見やご質問につきましては、今後も検討・対応していきたいと思っております。アンケートへのご協力ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。